

<Japan Private Equity Conference 2025>

『続・機関投資家のためのプライベート・エクイティ』
出版記念シンポジウムのご案内

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。この度、2025 年 12 月に金融財政事情研究会から刊行予定の『続・機関投資家のためのプライベート・エクイティ』の出版を記念して、Japan Private Equity Conference 2025 を開催することになりましたのでご案内させていただきます。

この 10 年間で、日本のプライベート・エクイティ市場は飛躍的な成長を遂げました。特に、バイアウト市場の発展は目覚ましく、投資家層の拡大も見られました。また、ファンド持分のセカンダリー取引や共同投資 (co-investment) などの手法も発展しました。そこで、本シンポジウムでは、プライベート投資の全体像を解説し、日本におけるプライベート・エクイティ実務のさらなる発展と高度化に向けた課題や将来展望についての討論を行います。機関投資家およびプライベート・エクイティ領域の実務に従事するプロフェッショナルの方々にご参加賜れば幸いです。

開催要領

【日時】

2025 年 12 月 16 日 (火) 13:00~18:45 (12:20 受付開始)

【会場】

大手町サンケイプラザ (東京都千代田区大手町 1-7-2) 4 階ホール (※オンラインでのライブ配信は行いません)

【参加費】

1 名 44,000 円 (税込)

【参加対象】

- 金融機関 (大手銀行、信託銀行、地方銀行、信用金庫、証券会社、保険会社、リース会社)、公的年金・共済組合、企業年金基金
- ゲートキーパー、アセットマネジメント会社、プレースメント・エージェンツ、プライベート・バンキング、ウェルス・マネジメント
- プライベート・エクイティ・ファーム (バイアウト、メザニン、ベンチャー、セカンダリー、ファンド・オブ・ファンズ)
- M&A アドバイザー、人材エージェンツ、年金コンサルタント、格付機関、弁護士、会計士、税理士

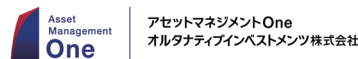
【お申し込み方法】

申込書での FAX 送信か Web サイト上 (<https://www.jbo-research.com/>) で申込書をダウンロードしメール添付で送信下さい。

【注意事項】

シンポジウム会場内での録画・録音・撮影は固くお断り致します。また、配布資料の無断転載やシンポジウムに関する事項をインターネット上へ記載することや SNS への投稿なども禁止します。なお、弊社のシンポジウムでは、参加者リストの開示は一切行っておりません。

Lead sponsors



Co-sponsors



主催: 株式会社日本バイアウト研究所 協力: 一般社団法人金融財政事情研究会

URL: <https://www.jbo-research.com/>

【お問い合わせ先】 jbori@jbo-research.com (担当: 杉浦)

プログラム

刊行の背景 (13:00-13:10)

株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

基調講演 (13:10-13:50)

テーマ：多様化する投資機会と戦略の選択 ～成熟する日本プライベート・エクイティ市場の10年と機関投資家の関わり方の変遷～
エー・アイ・キャピタル株式会社 代表取締役社長 GIO 佐村礼二郎氏

<概要>

日本のプライベート・エクイティ市場は、過去10年で大きく成長を遂げ、投資対象の多様化とともに、投資家の戦略そのものも柔軟かつ複線的なものとなりつつある。特に、セカンダリーや共同投資(co-investment)といった手法の広がり、新興マネジャーとの対話の深化、日本版 EMP といった制度的整備が重なり、今や“どこに投資するか”以上に、“どのように関わるか”が問われる時代となっている。本講演では、実務の現場で得た視座から、今後の機関投資家の関与のあり方と可能性について探る。

プレゼンテーション (13:50-14:20)

テーマ：「プライベート投資」業界の発展ならびに日本の投資家の取り組み拡大とその課題
アセットマネジメント One オルタナティブインベストメンツ株式会社 取締役 プライベート投資部長 齋藤大彰氏

<概要>

近年、プライベート・エクイティのみならずプライベート・クレジットやインフラなど低流動性資産の領域が拡大するなかで、「プライベート投資」の存在感が増している。多様性を増すプライベート投資の主要な投資戦略について全体像を提示し、また日本の投資家の取り組みの拡大とそれに伴って明確になってきた投資にあたっての課題とその解決方法などについて触れる。

休憩 (14:20-14:30)

パネルディスカッション① (14:30-15:30)

テーマ：プライベート・エクイティ市場におけるセカンダリー取引の発展と課題 ～持分の流動化目的から戦略的手段への拡大～
エー・アイ・キャピタル株式会社 マネージング・ディレクター 安藤寛章氏
WM パートナーズ株式会社 パートナー 鈴木祥平氏
Bee Alternatives Limited Investment Partner 西田昌平氏
司会者 アーク東短オルタナティブ株式会社 ファンドソリューション部長 シニア・ヴァイス・プレジデント 尾形康秀氏

<概要>

プライベート・エクイティにおけるセカンダリー市場が注目されている。投資家であるLPが流動性確保などを目的に行う伝統的なLP主導型セカンダリー取引に加え、GP主導型セカンダリー取引も登場している。本セッションにおいては、日本における近年の発展を振り返るとともに、GP・LP双方に求められる視点やファイナンシャル・アドバイザーが果たす役割について議論しながら将来展望を語る。

法務解説 (15:30-15:45)

テーマ：LP投資家のファンド持分のセカンダリー取引に関する法的留意点
長島・大野・常松法律事務所 弁護士 鈴木謙輔氏

コーヒーブレイク (15:45-16:05)

パネルディスカッション② (16:05-17:05)

テーマ：日本のバイアウト・ファンドの投資先企業のバリューアップの新展開 ～中堅企業の価値創造手法の確立を目指して～
インテグラル株式会社 ディレクター 伊藤大亮氏
アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 AI・DX支援室 室長 ディレクター 石川陽一氏
株式会社マーキュリアインベストメント ディレクター 遠藤広治氏
司会者 キャピタル・ダイナミックス株式会社 プリンシパル 寺竹成史氏

<概要>

この10年間で、バイアウト・ファンドによるバリューアップ手法にも進展が見られた。投資先企業に常駐して支援を行うケースにおいても成果が出て、デジタル・トランスフォーメーション、サステナビリティ、海外支援を担う専門人材を内製化する動きも出てきている。本セッションでは、日本の中堅企業の支援に従事するプロフェッショナルにより、投資先企業のハンズオンの最前線に迫る。

休憩 (17:05-17:15)

マーケット・レビュー (17:15-17:25)

テーマ：ミッドキャップのバイアウト・ファンドのポートフォリオ構築の選択肢
株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

パネルディスカッション③ (17:25-18:30)

テーマ：ミッドキャップ領域の日本のバイアウト市場の展望 ～良質な分散ポートフォリオの構築を意識した案件のオリジネーション～
アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 パートナー 野呂瀬和樹氏
インテグラル株式会社 パートナー 山崎壯氏
サンライズキャピタル株式会社 エグゼクティブディレクター 石原貴之氏
司会者 株式会社 KPMG FAS マネージングディレクター 横倉淳史氏

<概要>

日本のバイアウト市場は、オーナー企業の事業承継のみならず、子会社独立・カーブアウト、上場企業の非上場化、投資先企業のロールアップを含め目覚ましい発展を遂げたが、案件のパイプラインとリソースも勘案した適切なポートフォリオの構築が求められている。本セッションでは、潜在的な案件の可能性や良質な分散ポートフォリオの構築を目指した案件のオリジネーションの考え方について議論する。

クロージング・スピーチ (18:30-18:45)

テーマ：バイアウト・ファンド業界におけるキャリアの多様化 ～LP・GP・ゲートキーパーの事例を中心として～
アンテロープキャリアコンサルティング株式会社 取締役 山本恵亮氏
アンテロープキャリアコンサルティング株式会社 シニアディレクター 林徹氏

* 本プログラムの内容は予告なく変更される場合がありますので予めご了承願います。